

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-076212

(43)Date of publication of application : 23.03.2001

(51)Int.Cl. G07D 9/00
G06F 17/60

(21)Application number : 2000-209698

(71)Applicant : HITACHI LTD

(22)Date of filing : 01.06.1999

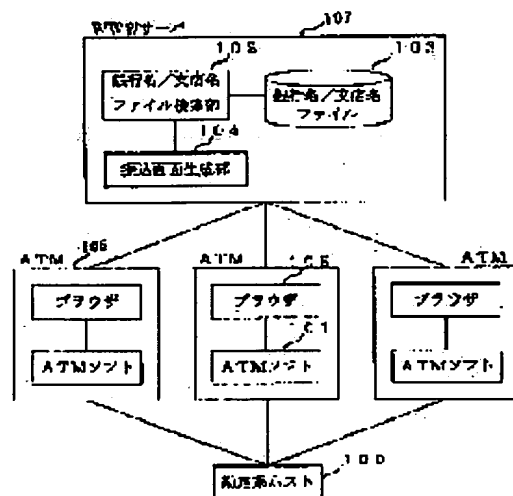
(72)Inventor : TAKADATE KIMITO

(54) TRANSFER SCREEN DISPLAY METHOD AND TRANSFER SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve the work efficiency of the version-up of a bank name/branch name file.

SOLUTION: A WWW server 107 has a bank name/branch name file 103 storing monetary facility names and branch names for every monetary facility, a bank name/branch name file retrieval part 102 and a transfer picture generation part 104. ATM 106 gives the request of a monetary facility selection screen or a branch name selection screen to the WWW server 107 with ATM software. The WWW server 107 retrieves the bank name/branch name file 103 by the bank name/branch name file retrieval part 102 in accordance with the request from ATM 106, generates a selection screen requested based on a retrieval result by a transfer screen generation part 104 and down-loads it on ATM 106. ATM 106 displays the monetary facility selection screen or the branch name selection screen, which is down-loaded at a browser 105.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

11.07.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

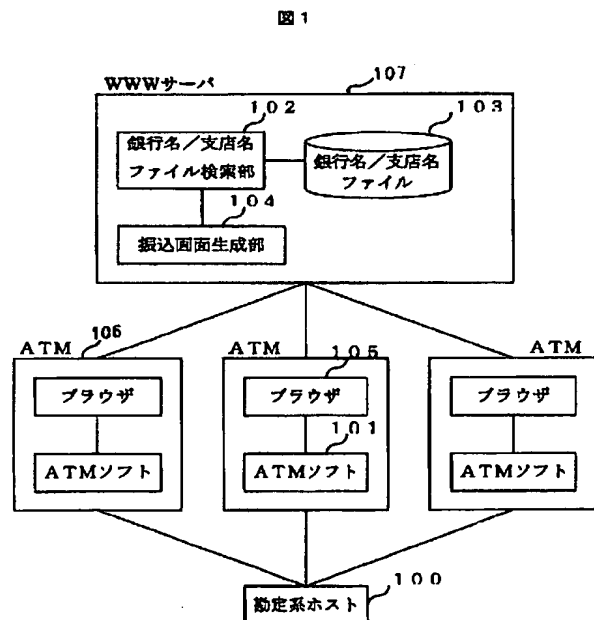
[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 必要な振込画面をサーバから自動取引装置に送信して表示する振込画面表示方法であって、前記サーバは前記自動取引装置から要求された金融機関名を受信し、

この受信した情報に基づき金融機関のアドレスが記述された対応表を検索して金融機関のアドレスを取得し、この検索した金融機関に対して支店選択画面を要求し、要求した結果、金融機関から生成される支店選択画面を受信し、

受信した支店選択画面を前記自動取引装置に送信し、前記自動取引装置にて振込に必要な支店選択画面を表示することを特徴とする振込画面表示方法。

【請求項 2】 利用者の要求に応じて振込画面を表示する自動取引装置と、該自動取引装置に接続された自行サーバと、該自行サーバに接続された他行サーバとを有する振込システムであって、

利用者の要求する振込選択に応じて前記自動取引装置は金融機関の種別を表示し、利用者によって選択された金融機関の情報を前記自動取引装置から前記自行サーバに送信し、

前記自行サーバは前記自動取引装置から受信する金融機関の情報が金融機関のアドレスを記述した対応表に存在するか否かを判定し、存在する場合は前記他行サーバに金融機関選択画面又は支店選択画面を要求して前記他行サーバによって生成された所望の金融機関選択画面又は支店選択画面を受信し、存在しない場合は前記自行サーバに記憶された金融機関選択画面又は支店選択画面を生成し、

前記自行サーバで生成した又は前記自行サーバが前記他行サーバから受信した金融機関選択画面又は支店選択画面を前記自動取引装置に送信して振込画面を表示する振込システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、WWWサーバに接続されるATMに係り、特に、WWWサーバから様々なページを取得してATM上に表示することで、情報を提供したり、商品を販売したりするATMに最適な振込画面表示方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来のATMは、特開平10-255165号公報の自動化機器におけるデータ登録方式に見られるように、銀行名／支店名ファイルを各ATMにインストールするために、ATMをネットワークに接続して、ネットワーク中のサーバから銀行名／支店名ファイルを各ATMにダウンロードしていた。振込を行う際には、銀行名／支店名ファイルから金融機関名を検索して金融機関の選択画面を表示し、利用者が金融機関を選択すると、利用者が選択した金融機関が保有する支店名を

検索して支店の選択画面を表示していた。新しいバージョンの銀行名／支店名ファイルができると、サーバから銀行名／支店名ファイルを各ATMにダウンロードしていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来技術では、銀行名／支店名ファイルをバージョンアップするためには、新しいバージョンの銀行名／支店名ファイルを、各支店を巡回してATM毎にインストールしていくか、センタから銀行名／支店名ファイルを各ATMにダウンロードする必要があり、労力と時間を要していた。さらに、近年金融ビックバンの影響で、海外の金融機関が日本の金融市場に登場しており、海外の金融機関に振込む機会が多くなってきたが、海外の金融機関までは銀行名／支店名ファイルに登録されておらず、ATMでは振込ができない。また、銀行名／支店名ファイルに登録しようにも支店の数が膨大になり、登録できなかった。本発明の目的は、銀行名／支店名ファイルのバージョンアップの作業効率を向上することにある。本発明の他の目的は、銀行名／支店名ファイルに登録すべき支店の数の大幅な増加に対して対応できるようにすることにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するため、本発明においては、ATMは、勘定系のホストに接続されると共にサーバに接続される。該サーバは、銀行名／支店名ファイルとその検索手段と、複数の金融機関のサーバのアドレスを記憶した対応表を有する。ATMの利用者がATMの振込キーを押下することにより、ATMは、都市銀行、地方銀行、信用金庫等の種別についての金融機関種別画面を表示し、利用者が種別を選択（例えば、地方銀行）することにより、次にATMは、利用者に金融機関の名称の頭文字を指定させるために、50音等の頭文字選択画面を表示し、利用者が頭文字を選択することにより、ATMは選択された金融機関種別と頭文字をサーバに送り、サーバは銀行名／支店名ファイルを検索して、選択された金融機関種別（例えば、地方銀行）で選択された頭文字を有する全ての金融機関名からなる金融機関選択画面を生成して、ATMに送り、ATMは、この金融機関選択画面を表示する。利用者がこの画面上で金融機関を選択することができる。サーバ内の対応表を検索して選択された金融機関名のサーバアドレスを取得し、取得できないときは自行のサーバアドレスを取得する。次にATMは選択された金融機関の支店名を指定させるために、50音等の頭文字選択画面を表示し、利用者が頭文字を選択することにより、ATMは先の取得した金融機関のサーバのアドレスと頭文字をサーバに送り、サーバは自行の支店名選択画面生成部または他行のサーバの支店名選択画面生成部に問い合わせ支店名選択画面を取得してATMに渡す。ATMが、この支店選択画面を表示することにより利用者は支店選

択画面から支店名を選択することができる。また、前記サーバに銀行名／支店名ファイルとその検索手段を置かずに前記の対応表に全ての金融機関を登録し、金融機関選択時には金融機関名の頭文字をサーバに送ることにより、サーバは金融機関名を対応表から検索して金融機関選択画面を生成してATMに送り、ATMはこの金融機関選択画面を表示し、利用者はこの画面で金融機関を選択し、さらに前述のように支店の頭文字を選択し、サーバに金融機関名と支店の頭文字を送り、サーバは金融機関名のアドレスを対応表から求め、このアドレスの金融機関に支店の頭文字を送り、この金融機関で支店選択画面を生成してサーバに送り、サーバは支店選択画面をATMに送り、ATMはこの支店選択画面を表示するようにする。このようにして、本発明は、振込処理に必要な金融機関名とその支店名の指定をすることができるようにしている。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施例を詳細に説明する。はじめに、第1の実施例について説明する。第1の実施例は、銀行名／支店名ファイルをWWWサーバに保有し、WWWサーバ上で金融機関選択画面や支店選択画面を生成し、生成した画面をATMにダウンロードして、ATM上のブラウザに表示するものである。図1は、第1の実施例が適用されるシステムの概略ブロック図である。ATM106は、勘定系のホスト100と通信することで、入出金を行うATMソフト101を有する。ATMソフト101は振込の際には、WWWサーバ107に振込画面を要求する。WWWサーバ107は、銀行名／支店名ファイル検索部102、銀行名／支店名ファイル103、振込画面生成部104を有する。WWWサーバ107がATMソフト101から振込画面の要求を受けると、WWWサーバ107上の銀行名／支店名ファイル検索部102は、銀行名／支店名ファイル103から金融機関名や支店名を検索し、振込画面生成部(104)は検索結果をもとに、金融機関選択画面や支店選択画面等の振込画面を生成する。生成した振込画面は、ATM106に送られ、ATM上のブラウザ105が表示する。

【0006】図2は、ATM106の構成およびATM106が接続されるネットワーク、サーバとの関係を示す図である。200は利用者の指示を入力するタッチパネル式入力装置、201はキャッシュカードやICカードを読み取ったり書込んだりするカードリード／ライト装置、202は明細票を印字する明細票印字機構、203は第1の実施例の処理を実行するプログラムを一時的に記憶する主記憶装置、204は上記プログラムを実行するCPU、205は上記プログラムを記憶する外部記憶装置、206は出力結果を表示する表示装置、207は紙幣を入出金する紙幣制御機構、208は硬貨を入出金する硬貨制御機構である。ATM106は自行のイン

トラネット220を介してWWWサーバ107に接続される。

【0007】次に、図3のフローチャートをもとに、第1の実施例の処理を説明する。利用者が振込キーを押下すると、金融機関の種別を選択する画面を表示する(300)。この画面はATMが保持している画面である。画面の例を図4に示す。次に、利用者による金融機関の種別の選択を読み込む(301)。例えば、利用者が地方銀行のボタンを押下したとすると、続いて地方銀行の頭文字を選択する画面を表示する(302)。画面の例を図5に示す。次に、利用者による頭文字の選択を読み込む(303)。例えば、利用者が頭文字‘あ’を選択したとすると、頭文字‘あ’を有する地方銀行を選択する画面を、自行のイントラネットに接続されているWWWサーバに対して要求する(304)。これまでの選択画面はATMが保持しているものである。WWWサーバでは、銀行名／支店名ファイル検索部102が上記選択した頭文字を有する地方銀行を銀行名／支店名ファイル103から検索し、振込画面生成部104が検索結果に基づき、金融機関選択画面を生成する。生成後、WWWサーバは生成した画面をATMに送り返す。ATMでは、WWWサーバから受け取った金融機関選択画面を、ブラウザ105が表示する(305)。画面の例を図6に示す。

【0008】次に、利用者による金融機関の選択を読み込む(306)。例えば、利用者が“ああ銀行”のボタンを押下したとすると、“ああ銀行”の支店の頭文字を選択する画面(この画面はATMが保持しているものである)を表示する(307)。画面の例を図7に示す。次に、“ああ銀行”の支店名の頭文字を選択すると、頭文字の選択を読み込む(308)。例えば、利用者が‘あ’を選択したとすると、“ああ銀行”の‘あ’から始まる支店を選択する画面を、WWWサーバに要求する(309)。WWWサーバでは、銀行名／支店名ファイル検索部102が上記選択した頭文字を有する金融機関の支店を銀行名／支店名ファイル103から検索し、検索結果に基づき、振込画面生成部104が支店選択画面を生成する。生成後、WWWサーバは生成した画面をATMに送り返す。ATMでは、WWWサーバから受け取った支店選択画面を、ブラウザ105が表示する(3010)。画面の例を図8に示す。利用者は、この支店選択画面を用いて支店名の選択をする。

【0009】次に、第2の実施例について説明する。第2の実施例は銀行名／支店名ファイルに登録されていない支店を表示するものである。図9は、第2の実施例が適用されるシステムの概略ブロック図である。図9のブロックは図1のブロック図と類似しているため、異なる部分についてのみ説明する。自行のWWWサーバ107は、対応表900と、対応表検索部901と、支店名選択画面生成部902をさらに有する。支店名選択画面生

成部 902 は、自行の支店名ファイルがある場合には、該ファイルを検索して支店名選択画面を生成してもよく、支店名選択画面そのものを保持し、要求に応じて画面を出力するようにしてもよい。対応表 900 には、複数の金融機関について、金融機関と金融機関の有する WWW サーバのアドレスとの対応を示す情報が記述されている。対応表検索部 901 は、金融機関が与えられると該金融機関の有する WWW サーバのアドレスを検索し、該アドレスに対応する WWW サーバに支店名選択画面を要求する。他行の WWW サーバ 907 は、自行の WWW

サーバ 107 と同様の構成を有し、該構成には支店名選択画面生成部 902 が含まれる。
【0010】金融機関選択画面としては、銀行名/支店名ファイル検索部 102 が銀行名/支店名ファイル 103 を検索した検索結果が表示される。利用者が金融機関選択画面から対応表に存在する金融機関を選択した場合には、対応表検索部 901 が、選択された金融機関名に基づき、対応表 900 の中から、選択された金融機関の有する WWW サーバのアドレスを検索し、検索したアドレスに対応する該 WWW サーバにアクセスして、支店名選択画面を要求する。アクセスされた WWW サーバでは、支店名選択画面生成部 902 が要求された支店名選択画面を生成し、要求があった WWW サーバに支店名選択画面を返す。

【0011】図 10 は、ATM と、自行の WWW サーバと、他行の WWW サーバとの接続関係を示す概略図である。自行の ATM 106 は、自行のイントラネット 220 を介して自行の WWW サーバ 107 に接続される。自行の WWW サーバ 107 は、自行のイントラネット 220 を介してインターネット 210 に接続される。また、他行の WWW サーバ 907 は、他行のイントラネット 920 を介してインターネット 210 に接続されている。

【0012】次に、図 11 のフローチャートをもとに、第 2 の実施例の処理を説明する。第 2 の実施例の処理は、第 1 の実施例の処理と類似しているので、図 11 のフローチャートでは、図 3 のフローチャートと同じステップには同一の符号を付し、第 1 の実施例の処理と異なる部分を含むステップ 306 以降についてだけ説明をする。ステップ 306 で金融機関選択の読み込みが行われると、対応表に存在する金融機関が選択されたか判定し (1100)、選択された場合には対応表の WWW サーバのアドレスを取得し (1101)、選択されなかった場合には自行の WWW サーバのアドレスを取得する (1102)。次に、支店の頭文字選択画面を表示し (307)、頭文字選択を読み込み (308)、ステップ 1101 またはステップ 1102 で取得したアドレスに対応する WWW サーバに支店選択画面の表示を要求し (309)、取得した支店選択画面を表示する。

【0013】第 2 の実施例では銀行名/支店名ファイルと対応表を併用したが、全ての金融機関を対応表 900

に登録することにより、対応表検索部 901 で金融機関名を対応表 900 から検索し、検索した金融機関名により振込画面生成部で金融機関振込選択画面を生成することが可能である。これにより、銀行名/支店名ファイル検索部 102 および銀行名/支店名ファイル 103 は必要なくなる。この場合のシステムの概略ブロック図は図 12 のようになる。また、この場合、金融機関振込選択画面には対応表に存在する金融機関名が表示されるので、図 11 のフローチャートにおいて、ステップ 1100 およびステップ 1102 は不要になる。

【0014】

【発明の効果】本発明によれば、WWW サーバに接続した ATM において、銀行名/支店名ファイルを各 ATM にインストールする必要がなくなるため、インストールする手間を省き、銀行名/支店名ファイルのバージョンアップの作業効率を向上できる。また、取り扱わねばならない金融機関が大幅に増加しても金融機関の支店の選択を可能にできる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】第 1 の実施例が適用されるシステムの概略ブロック図である。

【図 2】ATM の構成と ATM が接続されるネットワーク、サーバの関係を示す図である。

【図 3】第 1 の実施例の処理のフローチャートを示す図である。

【図 4】金融機関種別選択画面の例を示す図である。

【図 5】地方銀行の頭文字選択画面の例を示す図である。

【図 6】金融機関名選択画面の例を示す図である。

【図 7】支店の頭文字選択画面の例を示す図である。

【図 8】支店選択画面の例を示す図である。

【図 9】第 2 の実施例が適用されるシステムの概略ブロック図である。

【図 10】ATM と、自行の WWW サーバと、他行の WWW サーバとの接続関係を示す概略図である。

【図 11】第 2 の実施例の処理のフローチャートを示す図である。

【図 12】第 2 の実施例が適用されるシステムの他の概略ブロック図である。

【符号の説明】

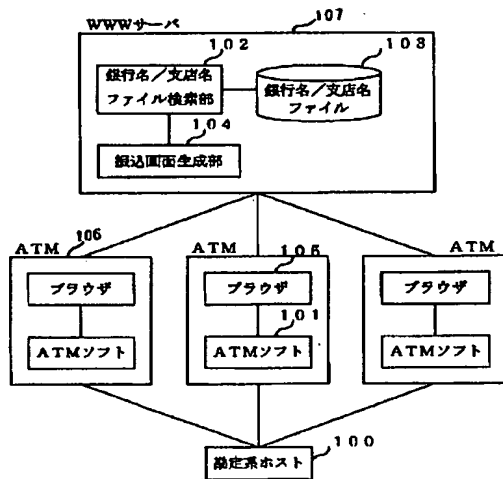
100 勘定系ホスト
101 ATM ソフト
102 銀行名/支店名ファイル検索部
103 銀行名/支店名ファイル
104 振込画面生成部
105 ブラウザ
106、906 ATM
107、907 WWW サーバ
200 タッチパネル式入力装置
201 カードリード/ライト装置

- 202 明細票印字装置
- 203 主記憶装置
- 204 CPU
- 205 外部記憶装置
- 206 表示装置
- 207 紙幣制御機構

- 208 硬貨制御機構
- 210 インターネット
- 220、920 イントラネット
- 900 対応表
- 901 対応表検索部
- 902 支店名選択画面生成部

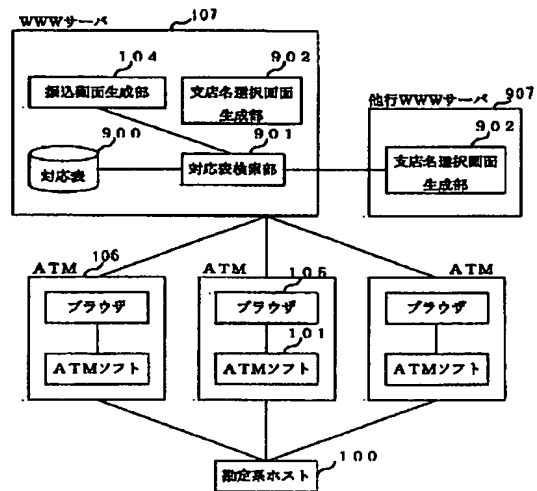
【図1】

図1



【図12】

図12



【図4】

図4

金融機関名

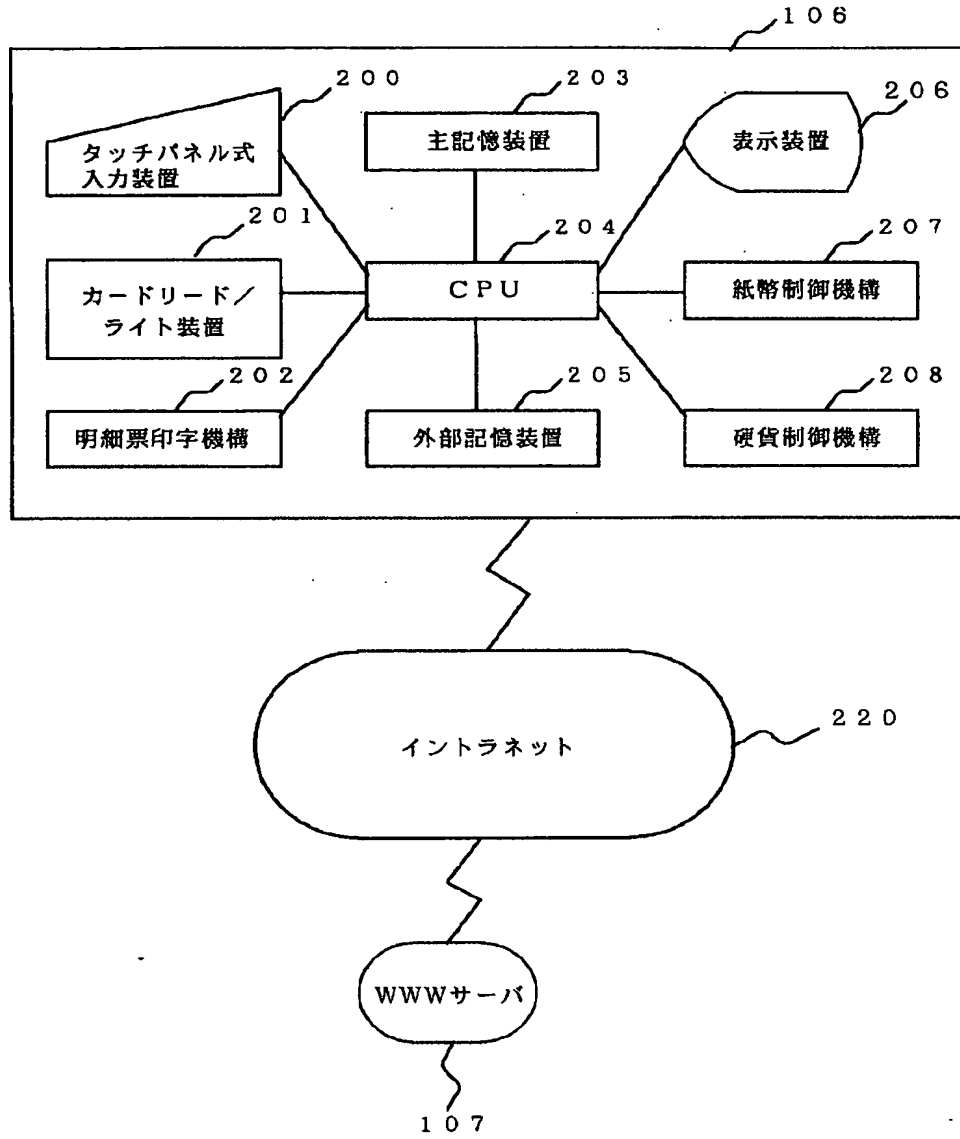
お振込先の金融機関名を押してください。

取消

都市銀行	地方銀行	信用金庫
信託銀行	農協	その他
前操作へ戻る		

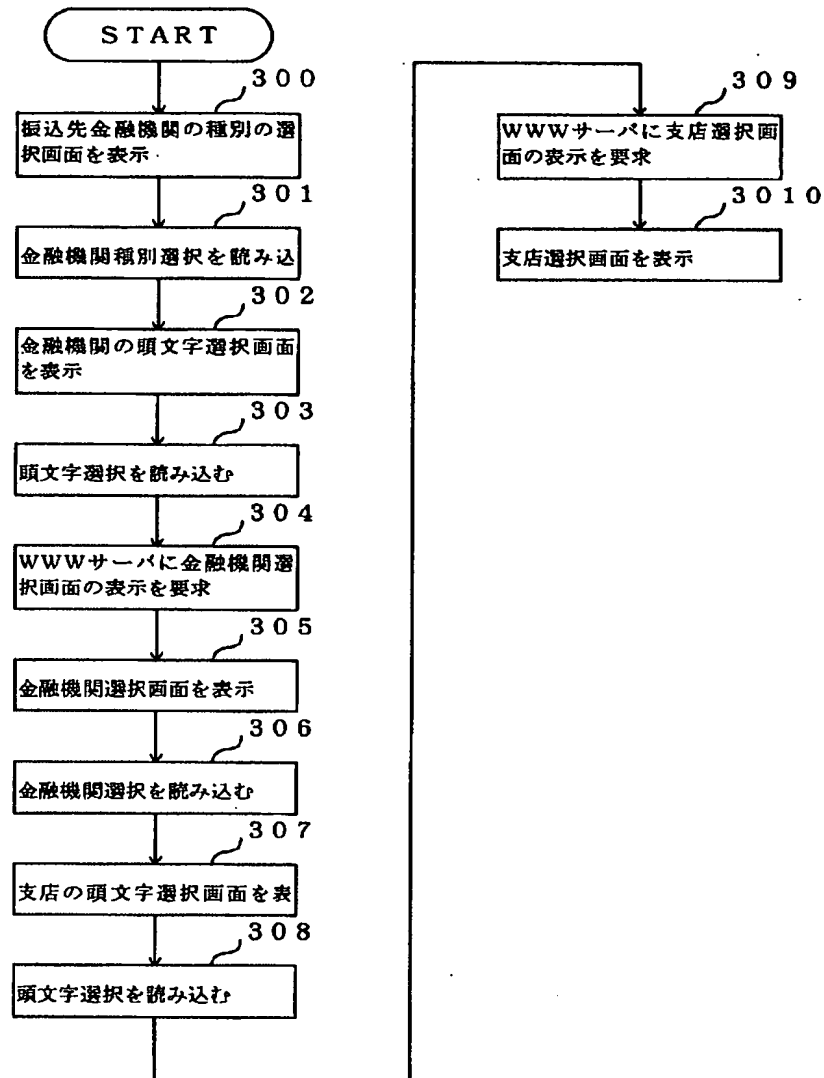
【図2】

図2



【図3】

図3



【図 5】

図 5

金融機関名
金融機関名の先頭文字を押してください。

取消

あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	
う	く	ず	つ	ぬ	ふ	じ	よ	る	
え	け	せ	て	ね	へ	り		れ	
お	こ	そ	と	の	ほ	も		ろ	

前画面

【図 6】

図 6

金融機関名
お振込先の金融機関名を押してください。

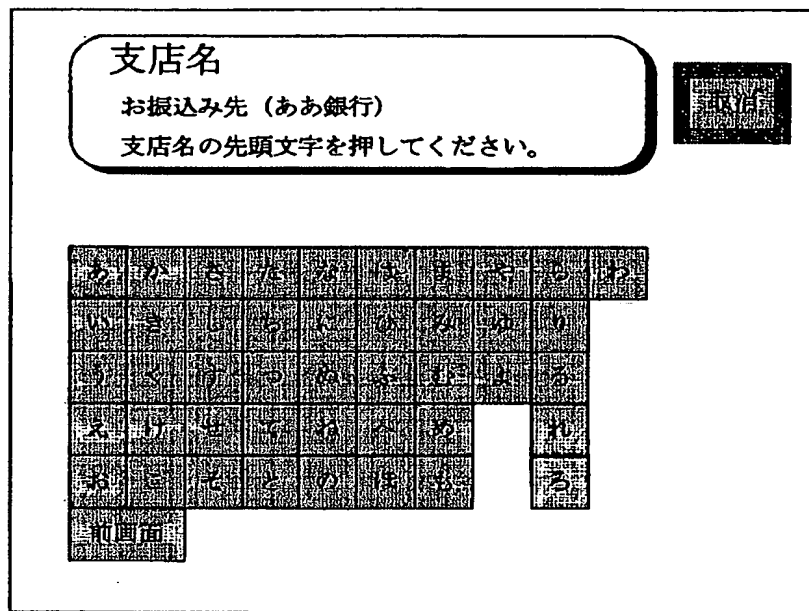
取消

あおぞら銀行	おひかり銀行	みずほ銀行
りそな銀行	三井住友銀行	三菱東京UFJ銀行

前画面

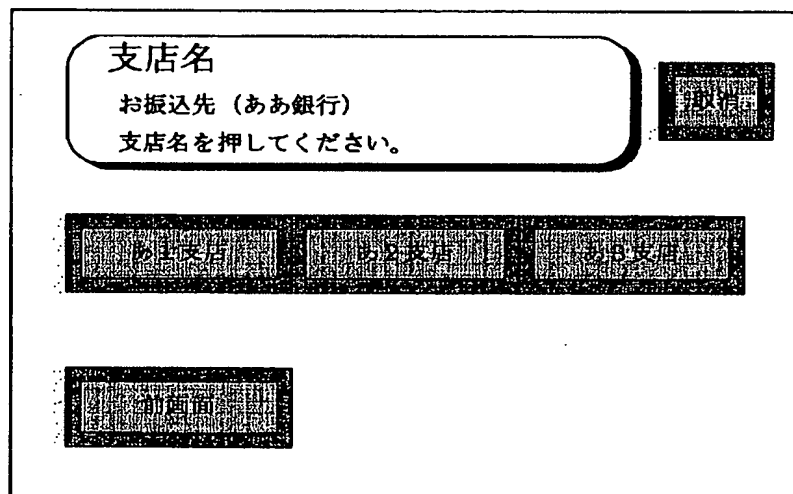
【図7】

図7



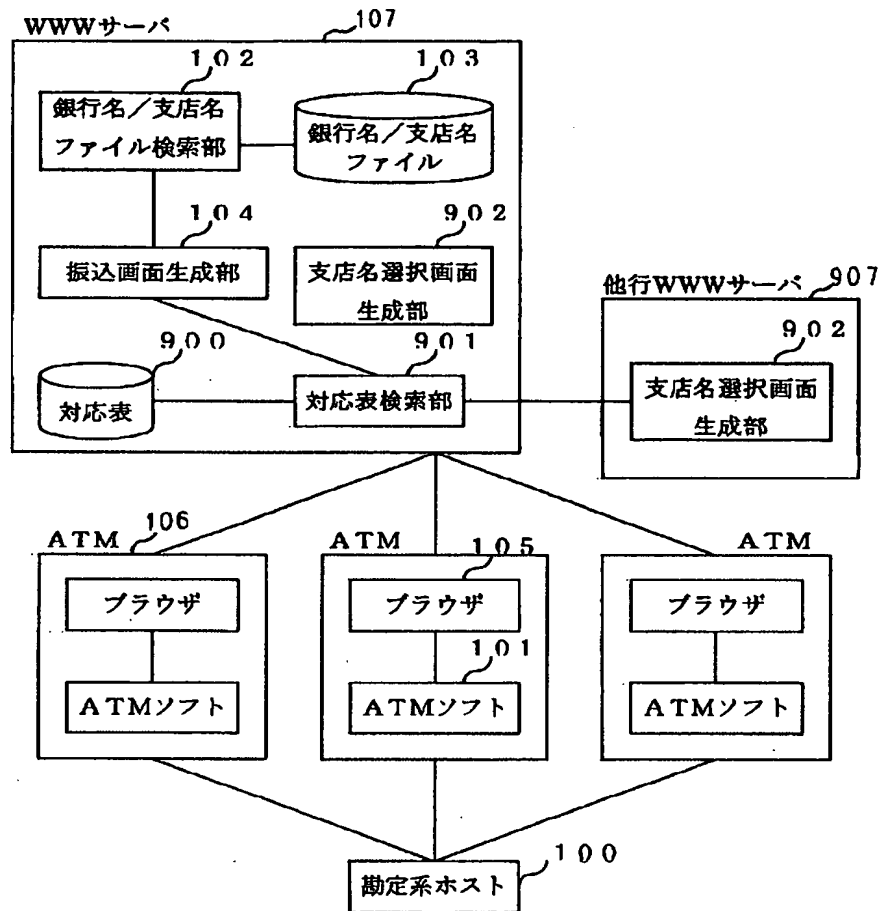
【図8】

図8



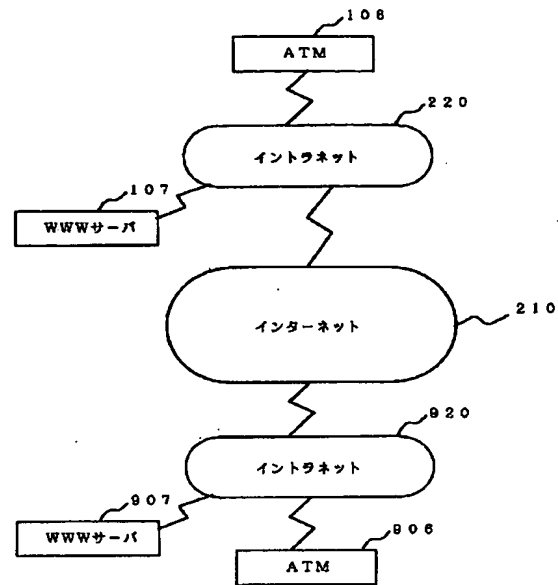
【図9】

図9



【図10】

図10



【図11】

図11

